

若鷹だより

高山市立荘川中学校
平成29年8月

クリスティン先生ありがとう！荘川のこと私たちのこと忘れないでね！
昨年から1年間保育園・小学校・中学校と英語を教えてくださいましたクリスティン先生
がアメリカに帰られました。

とっても明るいキャラクターで楽しく英語を教えてくださいました。終業式の時にお別れ会を生徒たちが開きました。

お別れするのはとても寂しいですが、クリスティン先生も「なりたい自分」目指してアメリカでがんばるとおっしゃっていました。

1年間本当にありがとうございました。



なりたい自分を描き、努力している人

校長 岡本 昌昭

『夢』⇒“なりたい自分”を描き、『挑戦』⇒その実現に向けて努力する、『感動』⇒具体的にできたという喜びを味わう。荘川中学校は、これらのことを大事にしています。そして、そのことが生徒一人ひとりの“ひとりだち”につながっていきます。

この8月から新しいALTが、荘川に来てくれました。アメリカのコロラド州から来たメリッサ・フアーロンさんです。

先日、彼女と少し話をしました。彼女が幼少（7歳くらい）の頃、初めて日本のアニメを見ました。そのアニメとは、宮崎駿さんの『千と千尋の神隠し』でした。見ている中で、情景描写や言葉のやりとりがものすごく心に残り、その後の日本の文化や言語に興味をもつキッカケになったそうです。

そして、年齢を重ねるにつれ、“もっと、日本の文化や言語を学びたい”と強く思うようになり、大学まで進み勉強をしてきたそうです。大学在学中には、本格的に日本語を学ぶために京都の大学に留学して、さらに勉強したそうです。その後、アメリカに戻り大学の教授に、ALTという仕事について教えてもらったそうです。また、英語を教えたいという思いも芽生えてきて決意（日本へ行きALTをすること）したそうです。

そういった経緯から荘川に来てくれました。来日するまでの半年間は、新たに教科書を購入し電子辞書を使って、独自に日本語の勉強を積んできたそうです。

彼女にとっての“なりたい自分”とは、“日本の文化や言語を学ぶ”や“英語を教える”といったことだったのでしょう。人は、本気で“なりたい自分”を描けば、努力を積み重ねていくことができます。なぜならば、やらされてやっているのではなく、自分からやろうとしているからです。メリッサ・フアーロンさんと話をし、改めてそう思いました。